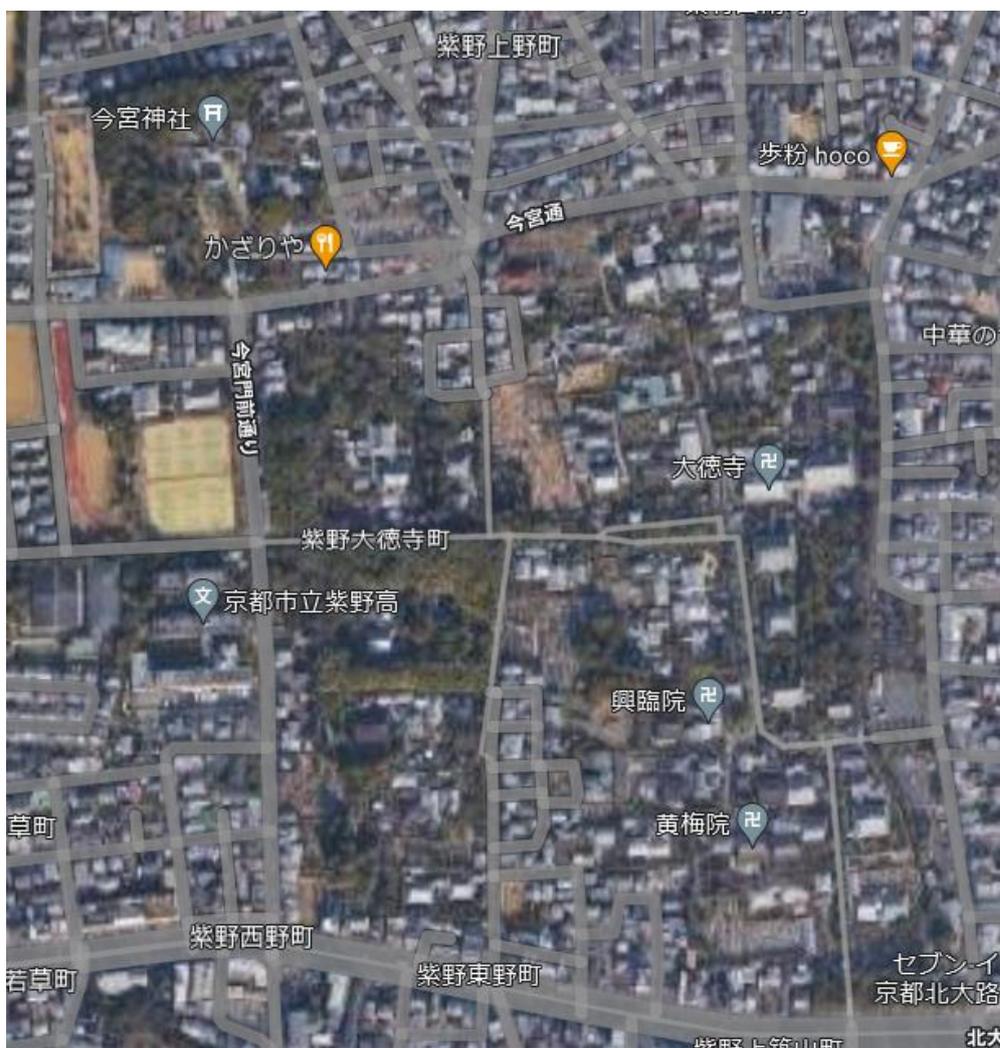


# 写真アルバムから

## シリーズC 寺社華風月 (白黒)

### C4 今宮神社・大徳寺 1974

森隆一



今宮神社・大徳寺 (Google Mao)

## C4. 今宮神社・大徳寺 1974

この2カ所を巡るのは、大徳寺にまず行き、時間が余れば今宮神社に行くのが普通である。アルバムでは、今宮神社の写真が先にあり、これが一部の写真を北野神社で撮ったものとする勘違いの一因であった。また、大徳寺での写真も逆順になっている。これから、大徳寺の境内をざっと見て、今宮神社に行き、復路で撮影したようだ。

## 今宮神社 1975

Wikipedia「今宮神社(京都市)」

現在の今宮神社がある土地には、延暦13年794の平安遷都以前から疫神スサノオを祀る社(現・摂社疫神社)があったとされる。平安遷都後にはしばしば疫病や災厄が起こり、神泉苑、上御霊神社、下御霊神社、八坂神社などで疫病を鎮めるための御霊会が営まれた。正暦5年994にも都で大規模な疫病が流行ったため、朝廷は神輿2基を造って当地で祀られていた疫神を乗せ、船岡山に安置し、音楽奉納などを行った後、疫災を幣帛に依り移らせて難波江に流した。民衆主導で行われたこの紫野御霊会が今宮祭の起源とされ、京都の他の都市祭礼と同じく災厄忌避を祈願する御霊会として始まった。



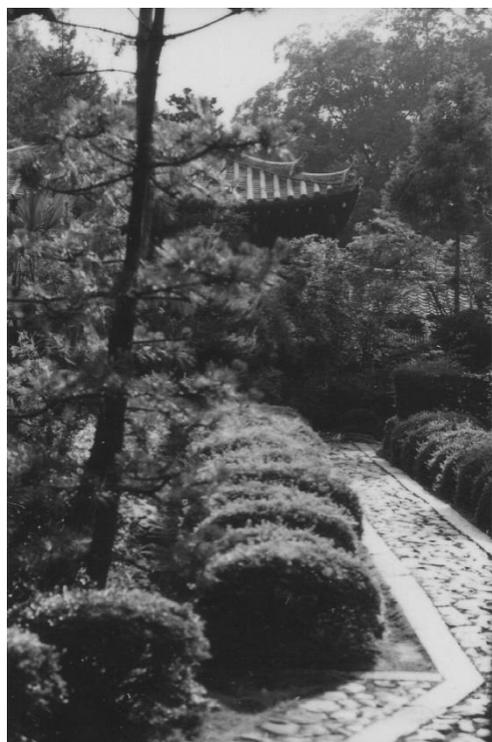
左の燈籠と右の狛犬は、ベタ焼きで大徳寺の写真に挟まれていたので、大徳寺で撮ったものであるが、場所は不明である。考えてみれば、お寺に狛犬は記憶にないので、Google Map で見ていたら。今宮神社で、円形に石柱を配置し、燈籠と狛犬が傍にある場所が見つかった。大徳寺から今宮神社を往復して撮影したようである。

## 大徳寺 1975

大徳寺は船岡山の北東北大路通の北に位置するが、境内は北大路通に接していないようである。総門は東側の通りに面している。総門を除けば、妙心寺と同じ伽藍配置のようである。



上の4枚の写真のうち、上段左の写真は山門を内側から撮ったものである。上段右の写真は本堂方面を写したものであると思われる。下段左の写真は法堂と方丈を結ぶ渡り廊下で、下段右の写真は塔頭の門である。



左の写真の奥は今宮神社に続く  
道路になる。

## あとがき

大徳寺は同規模の南禅寺や妙心寺に比べて参拝客は少ない。やや有名寺社と孤立していることによるか、庭園で有名な塔頭を抱えていないことによるのかもしれない。また、禅寺は国宝級の文化財が少ないということも考えられる。

Wikipedia「京都五山」五山の確定と幕府では

室町時代の足利義満が將軍職の至徳3年(1386年)、南禅寺を別格として五山之上とし、京都の天竜寺、相国寺、建仁寺、東福寺、万寿寺、鎌倉の建長寺、円覚寺、寿福寺、浄智寺、浄妙寺をそれぞれ五山に決定しその後の五山制度の根幹となった。五山十刹という場合、五山と、等時寺、臨川寺、真如寺、安国寺、宝幢寺、普門寺、広覚寺、妙光寺、大徳寺、龍翔寺の十刹の総称をいう

同起源では

今枝愛真の説によると最初に鎌倉幕府によって五山と称せられていたのは鎌倉の諸禅刹で‘当初の五山は鎌倉のみに限定されていた’としている。今枝によると建武の新政のもとで京都の大徳寺と南禅寺が五山の第一位の寺格とされ、さらに建仁寺や東福寺などの諸寺が五山に加えられるようになったとしている。暦応4年(1341年)、足利直義の評定により、第一位を建長寺(鎌倉)と南禅寺(京都)、第二位

を円覚寺(鎌倉)と天龍寺(京都)、第三位を寿福寺(鎌倉)、第四位を建仁寺(京都)、第五位を東福寺(京都)とし、準五山に浄智寺(鎌倉)を含めたとする。

ただし、鎌倉時代の創設当初は鎌倉と京都で一緒に五つの寺を五山に定めていたとする説もある(室町時代に京都と鎌倉に分けて五山が定められたとみる)。小此木輝之は鎌倉時代の五山を、建長寺、円覚寺、寿福寺、建仁寺(京都)、浄智寺と推定している。なお、足利義詮が將軍職のときにも五山の変動がみられた。

京都市街地は人によって差があるだろうが、筆者は京都市電の外周路線、すなわち、西大路・北大路・東大路・九条通りの内部と徒歩数分以内の範囲と思っている。ここで、南大路がないのは何故だろうかという疑問も湧いてくる。

この京都市街地で平地部にある寺院のうちで、大徳寺は最大の寺域をもつのではないかと思っている。

最後の4枚のようにピントが合っていて、ある程度コントラストがあり、現像がうまくいけば、ベタ焼きからのスキャンでも使えることがわかった。これでも、長さで5割程度拡大して用いている。スキャンの解像度を1段階あげてみたら、スキャン時間が5倍程度となった。また、ファイル容量も5倍になり、筆者のパソコンでは処理できなかった。